

# 大阪市立十三市民病院 地域医療連携室だより

令和7年11月秋・第43号

泌尿器科特集



前立腺肥大症に対する最新治療  
経尿道的水蒸気治療（WAVE）導入



# 十三市民病院 泌尿器科で新しく導入した前立腺肥大症に対する 「経尿道的水蒸気治療(WAVE)」

経尿道的水蒸気治療(以下 WAVE)はデリバリーデバイスを尿道に挿入し約 103°Cの水蒸気を放出することで、前立腺組織を壊死させます。その後自然吸収されて前立腺が縮小します。(図 1)

## WAVE の主な特徴

- ・手術時間が約 10 分であり低侵襲で出血もほとんどなく、従来の内視鏡手術と同等の効果が得られる とされています
- ・抗凝固剤や抗血小板剤を原則、中止せずに手術ができます

当院泌尿器科部長の熊田がご説明します！



- Q どんな患者さんに向いている手術ですか？  
A 内服薬での排尿のコントロールが困難になってきたが、従来の手術療法を選択するには年齢や併存疾患などで全身状態に不安がある方等です。
- Q 入院期間や麻酔方法は？  
A 安全に留意して最短で 3 日です。腰椎麻酔もしくは全身麻酔で行います。
- Q 従来の治療と比較して WAVE のデメリットはありますか？  
A 術後自然吸収が進んで前立腺が退縮するまで時間がかかるため即効性は期待できないことです。



従来の経尿道的前立腺切除術(TURP)等も含めて適切な治療法を患者さんと相談して決定します。

当院には皮膚・排泄ケア特定認定看護師や排泄ケアの専任看護師も在籍しており、入院中から退院後までチームとして包括的に関わることができます。排尿ケア看護外来も開設しており患者さんの生活や状況に即した細やかな指導が可能です。生活の質にかかる排尿障害に関してお困りがございましたら当科へご紹介ください。



図 1

# 排尿ケア看護外来の紹介

排尿ケア看護外来は皮膚・排泄ケア特定認定看護師を中心に活動しています。

WAVE 術後の患者さんは一定期間の尿道カテーテルの留置が必要です。入院中に抜去して退院する方もしくは退院後の外来で抜去する方のどちらかになり、患者さんの生活や状況に応じて決定しています。

いずれも退院後のケアが重要なので、患者さんに困りごとがないかをお聞きしています。

患者さんへのかかわりの一例としては「排尿日誌」を患者さんに記入していただき、その日誌をもとに排尿具合を伺い、水分量が適正かどうか等をアドバイスしています。

排尿ケア看護外来で患者さんから得た情報は、医師の処方内容や治療方針に役立てられるよう共有しています。個室でおひとりずつ丁寧に対応できることも当外来の特徴です。

WAVE の方だけでなく排尿障害などございましたら、ご依頼ください。



排泄に関する研修を修了した  
看護師が担当します。

詳細はQRコード

ご参照ください



## ー 主な相談内容ー

- ・排尿障害（出産後・術後）
- ・失禁ケア用品の選択
- ・骨盤底筋体操の指導 など

月曜日 9:00～15:00

## 完全予約制

かかりつけの先生から  
紹介状が必要です。  
紹介状は「泌尿器科宛  
看護外来希望」で  
ご作成をお願いします。

## 南海トラフ地震を想定した院内災害訓練を実施

当院は、地域の皆様の安心・安全を守るために、市町村災害医療センターに指定されています。この責務を果たすため、令和7年9月18日（木）に、南海トラフ地震の発生を想定した院内災害訓練を実施しました。この訓練は、病院職員全体の災害対応能力を向上させることを目的に行われたものです。

今年度は、特に多くの負傷者が発生した場合を想定し、傷病の緊急度や重症度に応じて治療の優先順位を決めるトリアージを強化した訓練を行いました。また、災害対策本部では正確かつ迅速な情報伝達の実践にも取り組みました。

大阪市立総合医療センターの救急医からの講評を受けて当院の課題が明確になりました。今後改善に努め、災害時に備えてまいります。



災害対策本部にて各部門に情報伝達を行う様子



初療エリアにてトリアージを行う看護師



処置室で診療する医師



災害訓練後、講評を行っている様子

インスタ連載中。



編集 〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-12-27

地方独立行政法人大阪市民病院機構

大阪市立十三市民病院 地域医療連携室

代表電話：06-6150-8000 直通電話：06-6150-8067